

合格体験記

徳島大学医学部医学科

私が受験勉強をしてきて、学力が伸びた勉強法を紹介しようと思います。一つ目は「なぜと問え」です。これは私が二年生の時の学年目標でした。「なぜこの公式が成り立つのか」のように、学習内容に疑問を感じ、その疑問を解決することで深く理解できて記憶に残りやすいです。私は暗記が不得意だったのでこの方法が特に役立ちました。二つ目は勉強をする環境を整えることです。youtube やスマホゲームを消す、スマホを自室に持って入らないなど、ちょっとしたことをするだけで勉強時間が伸び、勉強の質が上がります。三つ目は模試の成績を参考にしながら受験日から逆算して何をすればよいのかを考え、実行することです。今の自分と志望校の差を見つめ、これから一か月で何をすべきか、これから一週間で何をすべきか、と大きい目標から小さい目標にしていくことがコツです。そうすることで自分が今やるべきことが明確になり、実行に移しやすくなります。四つ目は隙間時間を活用することです。休み時間や通学時間やついスマホを使ってしまう時間を足してみると一時間を超えるはずです。英単語を覚えるなど、その時間を上手に活用することで他の受験生との差をつけていけます。人によって合う勉強法は様々ですが、お役に立てれば幸いです。

名古屋大学工学部

勉強方法について大事なことは、自学を充実させることです。授業ももちろん大事なのですが、復習なども含めた自学の時に1番学力が定着するので、授業だけに依存するとあまり成績が伸びない可能性があります。なので、授業をベースとした勉強をし、自分の志望のレベルに合わせて先取りしていくのも重要だと思います。恐れず挑戦するのが成功への道だと思うので、頑張ってください。

広島大学総合科学部

私が本格的に受験勉強を始めたのは高校3年の夏からでした。受験生の意識を持ち始めたのは高校2年の秋、千鳥祭後の学年集会で先生方からもう受験生だと言われたときでしたが、受験勉強を始めないと思うばかりで実際には何も行動に移せていない日々が続いていました。その後も学年集会のたびに先生方から口酸っぱく言われましたが、今振り返るとあの時から始めていればなあと思います。私は計画を立てるのが苦手な人で、テスト勉強や課題はいつもぎりぎりになるまでやらないタイプの人でしたが、受験勉強において私のような人は特に注意が必要です。なぜなら後になればなるほど、受験に対する焦りと不安で勉強が手につかなくなるからです。受験はメンタルが一番大切です。これは私の体験談ですが、共通テスト前は絶対に失敗できないというプレッシャーから、ネットで直前期の

勉強法や合格体験記ばかり見あさっていました。そんな私がなぜ志望校に合格できたのか考えたところ、やはり1年の頃からの日々の予習復習の積み重ねだと思います。テスト勉強も、前日勉強になってしまってもしないよりはましです。まだ受験まで時間のある1・2年生は日々の課題や予習復習をしっかりこなすようにしてください。3年生は模試の判定に左右されないようにしてください。私は模試で最後までA判定をとったことがありません。受験はつらいようで終わってみればあっという間です。最後まであきらめず頑張ってください！

岡山大学法学部

私が志望校合格まで大切にしてきたことは、日々の予習と復習です。授業の予習をしっかりと行えば、自分が理解できていない部分を把握した状態で出席することができます。そして授業で学んだことを、帰宅後にもう一度自分で説明したり解き直したりして、定着させるようにしていました。普段から分からないことを減らすことを習慣としていれば、定期テストや模試の前になってどこから手をつければ良いのか分からない、と焦ることが少なくなると思います。テストの後にも、間違えた原因を探り解き直す時間をとっていました。復習したことが役に立った時には、知識や考え方がきちんと身に付いていることが分かり、勉強の活力になっていました。

しかし、これだけで共通テストや個別試験までの長い期間モチベーションを維持することは少なくとも私には難しいことで、思うような結果が出ずに落ち込んだり、なんとなくやる気がでなかったりした時が多くありました。そしてそんな時には自習室を利用し、気持ちを切り替えていました。直接言葉を交わすことはありませんが、目標の為に頑張っている人の姿を見ることで、自然と前向きになることができていました。

自分に合っていると思える勉強法を確立することは、受験への不安を和らげる材料の一つとなります。ここまで綴ってきたことはあくまでも一例ですが、この体験記が少しでも参考になれば幸いです。

岡山大学文学部

私が勉強のなかで大事だなと感じた事は、勉強したことで出来るようになったことの実感を得ることです。受験期は、合格の為に必要なことが増える一方で、時間が少ないように感じて焦ってしまいます。するとだんだん、自分の現状が分からなくなり、モチベーションが下がってしまうことがあると思います。そういう時には、簡単な問題や解いたことのある問題を解いたり、読んでみたりすると良いです。なんだ簡単じゃんと思えます。同時に、過去の自分と比べて力がついたと実感できます。自分のできないことや弱点を考えることももちろん大事ですが、いつも頑張ってる自分を褒めることもいい結果につながるはずです。

また、自分が覚えていると思っていても実は抜けている事は多いので、たまには初心に

かえるのもいいと思います。基礎基本というのは物事の1番初めに習うものなので簡単に思われ、その先の応用といったものに目を奪われがちですが、そのまま進んでいくと表面的な理解にとどまり、自信が持てません。時々、忘れてしまいがちな基礎基本に立ち返ると、難しかったことでも分かるようになります。

学習の日々になるでしょうが、適度なストレス発散になるのでやりたい事はやっていいと思います。不安なことはたくさんあると思いますが、それと同じくらいたくさん楽しいことがあるはずです。皆さんが悔いのない選択が出来るよう応援しています。

岡山大学教育学部

志望校に合格した今、諦めずに最後までやってよかったなと心の底から思っています。そこで私が皆さんに伝えたいことは次の2つです。1つ目は日々の積み重ねです。難しい問題集に手を出すより、単語帳や文法書で基礎を固めることが大切です。また、定期テストの問題は入試には出ないので手を抜いてよいと思っている人はいませんか？しかし学校での授業はすべて入試に直結しています。私は定期テストで全教科満点を目指して取り組んでいました。高すぎる目標に思えるかもしれませんが、手を抜かなくてよかったと心の底から感じています。2つ目は諦めず自分の道を信じて着実に一步一步前に進むことです。模試の結果に一喜一憂せず、自分を信じ抜くことが大切です。どんなに苦しくても諦めずに努力し続ければ結果は必ずついてきます。受験は自分一人ではなく先生方や友達、家族、みんなで戦う団体戦です。辛いこともたくさんあると思いますが、最後まで自分を信じて諦めず頑張ってください。応援しています！

岡山大学教育学部

私は、共通テスト利用の総合型選抜で、岡山大学に合格しました。

総合型選抜に向けては、担任の先生をはじめ多くの先生方が親身になって指導してくださり、たくさんのアドバイスをいただきました。そもそも私は、担任の先生に総合型選抜の受験を勧められなかったら、受けていませんでした。だからこそ、私は先生方のおかげで合格できたといっても過言ではありません。それ以外にも、私が前期の出願を悩んでいるときには、毎放課後相談に乗ってくださりました。先生方は、勉強や入試に関して私たちよりも多くの情報を持っていて経験も豊富なので、質問があったり、悩み事があったら是非先生方のところへ行くとよいと思います。

岡山大学教育学部

総合型推薦は、みんなが共通テストに向けて頑張っているときに推薦の準備をしなければならず、勉強と両立するのが大変ですが、チャンスが増えるという大きな利点があります。また、志望理由書の作成や面接の練習は、自分の将来や大学に入って学びたいことに

向き合うことができ、とても良い経験になりました。

私が本格的に総合型推薦の対策に取り組んだのは、3年の9月に入ってからでした。自己推薦書を10月中に完成させなければならず、この時期は、毎日文書作成に時間が取られ、共通テスト対策に遅れをとらないか心配でした。出願後も、プレゼンテーションの準備があり、模試で思うように点数が上がらず焦りを感じました。

自分の中で失敗だったと思うのは、時間に追われて模試の復習が十分にできなかったことと、全ては習っていないからと共通テストの過去問を後回しにして、取り組み始めたのが12月になってしまったことです。早めに取り組んで何度も繰り返すことをおすすめします！！

それから、推薦を考えている人は、授業や課題はもちろん、ACTや千鳥ラボ、ボランティアなど一生懸命取り組みましょう。私は、三年間の取り組みが、自己アピールや活動体験の記録、面接にとっても役に立ちました。

受験は不安で大変なものですが、笠岡高校の先生方は、いつも応援してくれています。最後まで諦めなかった人が合格を勝ち取ります！皆さんの合格を心から願っています。

徳島大学医学部放射線学科

体験記を記すにあたり伝えたいことは英語学習です。私は2年生のときに7月から11月までの4ヶ月の間に全国偏差値を18.2あげることができました(進研記述模試、7月51.7→11月69.9)。私がこのように偏差値をあげることができた要因には2つあると考えています。

一つ目は日常生活に英語を組み込むことです。机に向かって勉強するだけが英語学習ではありません。英語が得意になるには普段の生活の中でどれだけ英語に触れることができるかが重要です。例えば私はニュース記事を英語で読んでみたり、日本語の文章を読む時にこれは英語で何て言うのだろうかと思ったりしていました。

二つ目は長文読解です。みなさんは長文の問題を解き終わったら何をしますか？多くの人は知らなかった単語を調べて終わるでしょう。しかしその後の作業が必要なのです。それは「音読」です。声に出した瞬間日本語訳が出てくるくらい何回も同じ文章を音読をしてください。音声がついていればもちろん使ってください。正しい発音をすればリスニング対策にもなります。そうやって人に教えられるくらい完璧に理解した文章をストックしていけば初見の文章もスラスラと読めるようになります。

以上挙げた勉強法を参考にし、この合格体験記を読んだみなさんが英語を得意科目になってくれることを願ってやみません。